



(写真) @comandosergioh “シウダ・ボリバル市 投票会場の様子”

## 2024年6月28日(金曜)

### 政治

「[GAFI ベネズエラを金融グレー国に認定](#)」

「[亜外相 マドゥロ政権の協定違反を批判](#)」

### 経済

「[委任専門家 CITGO 競売の9月延期を提案](#)」

「[Petroboscan 24年末に日量9.6万バレル](#)」

「[ジンバブエと「鉱物」など11協定を締結](#)」

「[24年前期 ベネズエラの証券市場好調](#)」

### 社会

「[カラカス 世界の住みやすい都市164位](#)」

「[チリ刑務所 ベネ・マフィアの賄賂で機能不全](#)」

## 24年6月29-30日(土・日)

### 政治

「[模擬選挙開催 特段の問題なく終了](#)」

「[～投票処理時間は1人当たり38～42秒～](#)」

「[CNE 欠席する投票オペレーターに罰金](#)」

### 経済

「[10月から中国・ベネズエラ便 運航開始](#)」

「[4月の米向け原油輸出 日量20.9万バレル](#)」

「[牛肉消費量 2023年の2倍以上に増加](#)」

「[1～5月 鶏肉消費17.6キロ、鶏卵116個](#)」

### 社会

「[台風 Beryl 7月1日～7月2日に接近](#)」

2024年6月28日（金曜）

## 政治

## 「GAFI ベネズエラを金融グレー国に認定」

6月28日 「マネーロンダリングに関する金融活動作業部会（通称 GAFI）」は、ベネズエラを「マネーロンダリングに対する監視戦略が不十分な国」（金融グレー国）に認定した。

また、このタイミングでベネズエラに加えてモナコも金融グレー国に認定されている。

ベネズエラは、2010年に GAFI から金融グレー国に認定されたことがあるが、2013年に同認定を取り消されており、今回で2度目の金融グレー国認定ということになる。

この認定は2022年11月に同団体が実施した調査の結果で、ベネズエラは、マネーロンダリングやテロ資金拡散防止の対策と罰則の迅速な実施において脆弱性があるとの査定が出されたという。

また、ベネズエラは調査のために必要な「金融取引の最終裨益者」に関する情報提供に問題があったという。

以下は個人的な見解だが、米国の金融制裁を受けて通常の金融取引が困難になっている状況下で、国際的な金融スタンダードの順守と透明性の高い金融情報の提供を求めることは無理があるだろう。

## 「亜外相 マドゥロ政権の協定違反を批判」

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1082](#)」にて、在ベネズエラ・アルゼンチン大使館に保護されている野党活動家がクーデターを企てているとのマドゥロ政権側の訴えを紹介した。

この訴えを受けて、アルゼンチンの Diana Mondino 外相は「アルゼンチン政府は、カラカス協定に基づき、当該国の大使館で保護している活動家の亡命をマドゥロ政権に繰り返し要求している」「しかし、マドゥロ政権からの回答はきていない」と反論。

「マドゥロ政権が、亡命に関する協定を違反し、アルゼンチン大使館の保護下にあるベネズエラ人の国外移動を許可しない」と主張した。

## 経済

## 「委任専門家 CITGO 競売の9月延期を提案」

「ロイター通信」は、PDV Holdings（CITGO の100%持株会社）の競売に関して、デラウェア州裁判所から委任を受けた専門家が競売の延期を提案していると報じた。

同競売は、7月15日に結果が発表される予定になっているが、利害関係者が多く、競売に関して考慮しなければいけない点が多いこと、応札者が提示している決済方法に懸念があることなどを理由に複雑なものになっているようだ。

ロイター通信によると、委任を受けた専門家は、裁判所に対して9月19日まで最終応札の日取りを延期することを提案しており、最終的な判断は裁判所が下すという。

同競売を監督している Robert Pincus 氏は、「実現可能性のある応札は複数提示されている」とコメントしているが、ロイター通信が匿名関係者から得た情報によると、裁判所が求める条件を100%順守できている応札者はおらず、検討の必要があるようだ。

## 「Petroboscan 24年末に日量9.6万バレル」

6月27日 マドゥロ大統領はスリア州を訪問。「Chevron」とPDVSAの合弁会社「Petroboscan」を視察した。

マドゥロ大統領は、「現在 Petroboscan の産油量は8.3万バレル/月だが、2024年末に9.6万バレル/月になる」と説明(月ではなく日量の間違いと思われる)。

PDVSAのペドロ・テジェチェア総裁は、「2つの発電機がスリア州で再稼働し、60メガワットの電力が追加で供給されるようになった」「加えて、国会で2040年まで Chevron がベネズエラで採掘活動を行うことが許可された」「ベネズエラは、全ての国の企業と同盟関係を結ぶ用意がある」と言及した。

なお、再稼働した発電機のうち1つは、「バホグランデ火力発電所」で故障していた設備をドイツに移動させ、8か月かけてメンテナンスを行い、5月末にベネズエラに設備を戻したという。

## 「ジンバブエと「鉱物」など11協定を締結」

6月27日 ベネズエラのイバン・ヒル外相は、ジンバブエと第1回ハイレベル級会合を実施し、11の協定を締結したと発表した。

協定は、「航空」「鉱物」「環境」「気候変動」「生物多様性」「森林保護」「持続可能な開発」「大学教育」「文化」「若者」「炭化水素」などの分野だという。また、一方的な懲罰措置(制裁)に関する調査を共同で行うことでも合意したという。


ベネズエラを訪問したジンバブエの Frederick Musiwa Makamure Shava 外相は「共同委員会による協議は成功した」「両国の関係発展を大きく前進させることだろう」「今回署名した合意の履行状況を確認するため、6か月後に再びベネズエラ政府関係者と面談することを望んでいる」とコメントしている。



(写真) Yvan gill 外相 X

## 「24年前期 ベネズエラの証券市場好調」

ベネズエラの代表的な株価指数「ベネズエラ証券指数(BVC)」が上昇している。

 **Prensa Presidencial** @PresidencialVen · Jun 28  
#DelInterés | PetroBoscán traza meta de 96 mil barriles al cierre del 2024  
[shorturl.at/XLRcJ](https://shorturl.at/XLRcJ)



(写真) Prensa Presidencial X

2024年6月28日時点で、BVCの株価指数は78,695.2ポイント。ドル建てで前年同期（23年6月末）のBVCと比較すると、70.1%増だったという。

また、24年1～6月の株式市場の取引回数は18,953回。金額にして1,906万4,917.88ドルで、前年同期の743万4,255.21ドルから2倍以上増加した。

他、2024年1～6月までのドル建て社債発行額は合計で1,593万5,199ドル。前年同期と比べて43.2%増加した。

## 社 会

### 「カラカス 世界の住みやすい都市164位」

英国経済誌「The Economist」は、「世界の住みやすい都市ランキング（2024年度版）」を更新した。

同誌調査によると、ベネズエラの首都カラカスは、173位中164位。「世界で10番目に住みにくい国」という不名誉なランキングとなった。

カラカスの採点は100点満点中44.9点。

「教育」は66.7点、「インフラ」は53.6点と比較的高めに評価されているが、「文化・娯楽」は45.1点、「ヘルスケア」は37.5点、「安定性」は35点と足を引っ張った。

なお、ベネズエラよりも低く評価された都市は

- 165位：キエフ（ウクライナ）
- 166位：ポートモレスビー（パプアニューギニア）
- 167位：ハラレ（ジンバブエ）
- 168位：ダッカ（バングラディシュ）
- 169位：カラチ（パキスタン）
- 170位：ラゴス（ナイジェリア）

- 171位：アルジェ（アルジェリア）
- 172位：トリポリ（リビア）
- 173位：ダマスカス（シリア）だった。

また、世界の住みやすい都市ランキングの1位は、オーストリアのウィーン、2位はデンマークのコペンハーゲン、3位はスイスのチューリッヒと続く。

日本は、大阪が前回調査の10位から1つ順位を上げ9位。東京は14位だった。

### 「チリ刑務所 ベネ・マフィアの賄賂で機能不全」

6月14日 チリの5つの州で武器の密売を理由に9人の刑務所職員・元職員らが逮捕された。この事件には刑務所のマフィアグループが関与しているという。

本件について、現地メディア「Meganoticias」は、匿名の刑務所職員の証言を報道。サンティアゴ第1刑務所内は深刻な汚職が蔓延していたと報じた。

Meganoticiasによると、サンティアゴ第1刑務所は、ベネズエラ系マフィア「Tren de Aragua」やコロンビア系マフィアを中心とした犯罪組織が掌握しているという。

サンティアゴ第1刑務所の収容能力は4000人だが、現在は5000人が収容されている。また、チリの中でも特に凶悪な犯罪者が同刑務所には収容されており、彼らは刑務所の中で活動を続けているという。

財力を持っている刑務所の囚人は賄賂を支払うことで携帯電話やその他電子機器を持ち込むことが可能で、この汚職に加わっていた職員の中には1日当たり30万ペソ（約320ドル）を得ていた者もいるという。

また、外部にいる協力者で、刑務所の中庭に麻薬や武器や携帯電話を投げ入れる者がいる。

その行為は「ペロタソ」と呼ばれており、ペロタソを意図的に見逃す刑務所職員は、多いときには1回で10万ドルを得ることもあるという。

これら犯罪行為は刑務所内では周知の事実だが、密告者は殺害される恐れがあり、容易に告発することはできないようだ。

2024年6月29日～30日（土曜・日曜）

## 政治

「模擬選挙開催 特段の問題なく終了

～投票処理時間は1人当たり38～42秒～」

6月30日 大統領選の模擬選挙が行われた。

模擬選挙は、大統領選が滞りなく運営できるかどうかを確かめるテスト的な選挙であり、この結果は本番の大統領選には影響を与えず、結果も公表されない。



（写真）メリダ州

特に何か意味を持つイベントというわけでもなく、模擬選挙は特段の問題なく平和的に終了した。

与党政治家については、デルシー・ロドリゲス副大統領、ホルヘ・ロドリゲス国会議長、ディオスダード・カベジョ PSUV 副党首など主要な政治家が模擬選挙に参加。支持者に対して模擬選挙への参加を呼びかけた。

一方、野党「統一プラットフォーム」は模擬選挙について声明を発表。

模擬選挙が適切に運営されているか監視員を派遣する一方で、「模擬選挙に参加するかどうかは各人の意志に任せる」とし、支持者に対して模擬選挙への参加を呼び掛けることはなかった。

エドムンド・ゴンサレス候補もマリア・コリナ・マチャド氏（MCM）も模擬選挙には参加していないようだ。

なお、「選挙管理委員会（CNE）」のカルロス・キンテロ役員は、模擬選挙の投票に参加し、投票後に記者からのインタビューに回答。

「投票にかかる時間は1人当たり38～42秒くらい」「重要なのは、各有権者が事前に自身が投票する会場を確認しておくこと」と説明した。

「CNE 欠席する投票オペレーターに罰金」

6月29日 国営放送局「VTV」は、大統領選の作業員に指名された人物で、当日に欠席した者に対して罰金を科すと報じた。

罰金の金額は3,71～12,37ドルだという。

VTVによると、「罰金を科す目的は、有権者の義務の履行を促進するため」と説明しているが、「ベネズエラでは投票は義務ではない」と反論する意見も散見される。

ただし、正当な理由がある時の欠席は可能で、その場合は事前に各州の選挙事務所に通知をする必要がある。

## 経 済

### 「10月から中国・ベネズエラ便 運航開始」

6月28日 中国とベネズエラの空路開通式が開催された。

開通式に参加した Yvan Gil 外相、Ramón Celestino Velásquez 交通相によると、中国—ベネズエラ便は2024年10月27日から開始。「ベネズエラ国営航空会社 (Conviasa)」が週1便で運航するという。



#InfoAIM || La inauguración de la conectividad en este destino estuvo liderada por el Ministro de @TransporteGobVe GD. @rvaraguayan, el Canciller de Venezuela @yvangil, junto a las autoridades diplomáticas de la República Popular China y la Federación de Rusia.



10:50 a. m. · 29 jun. 2024

(写真) マイケティア国際空港

“中国とベネズエラの空路開通式の様子”

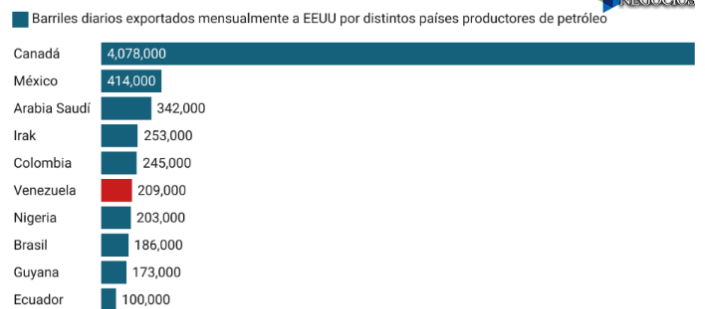
### 「4月の米向け原油輸出 日量20.9万バレル」

米国の「エネルギー情報局 (EIA)」によると、2024年4月のベネズエラによる米国向け原油輸出量は、日量20.9万バレル。

- ・カナダ (日量407.8万バレル)
- ・メキシコ (同41.4万バレル)
- ・サウジアラビア (同34.2万バレル)
- ・イラク (同25.3万バレル)
- ・コロンビア (同24.5万バレル)

に次いで、6番目に原油輸出が多い国になった。

### Exportaciones de crudo a EEUU (abril 2024)



El ranking de exportaciones de crudo a EEUU sitúa a Venezuela en 6º lugar  
Chart: Ing. Alvaro Abreu. Source: EIA. Created with Datawrapper

なお、3月の米国向け原油輸出量は日量17.7万バレルだったので、輸出量が増加したことになる。

また、2024年1～4月のベネズエラによる米国向け原油輸出量は平均で日量17万バレル。

2023年1～4月は日量8.7万バレルだったので、約2倍に増えたことになる。

## 「牛肉消費量 2023年の2倍以上に増加」

「ベネズエラ全国畜産連合会（Fedenaga）」の Édgar Medina 代表は、ラジオのインタビュー番組に出演。

ベネズエラの牛肉類の消費量が前年より増加したとコメントした。

Medina 代表によると、これまでベネズエラ人の牛肉消費量は年間4キロ／人だったが、2024年は同約8～9キロ／人と2倍超になる見通しだという。

また、現在のベネズエラでは年間に150万頭の牛を食肉用に消費していると述べた。

加えて、ベネズエラの畜産業は国内の需要以上に生産能力があると指摘。20万～30万頭の牛肉は輸出することはできるとの見解を示した。

## 「1～5月 鶏肉消費17.6キロ、鶏卵116個」

「ベネズエラ全国養鶏連合会（Fenavi）」の Francisco Tagliapietra 代表は、2024年1～5月の食肉用の養鶏生産量は平均41,829トンとコメント。

2023年1～5月は同39,105トンだったので、6.5%増加したと説明した。

また、2024年1～5月のベネズエラ人の鶏肉消費量は1人当たり17.6キロだという。

また、鶏卵の生産について、2024年1～5月までに360個／パックのセットを824,897パック生産したと説明。

2023年1～5月は763,783パックだったので、7.4%増になるという。

2024年1～5月までの1人当たりの鶏卵の消費量は116個だという。

## 社 会

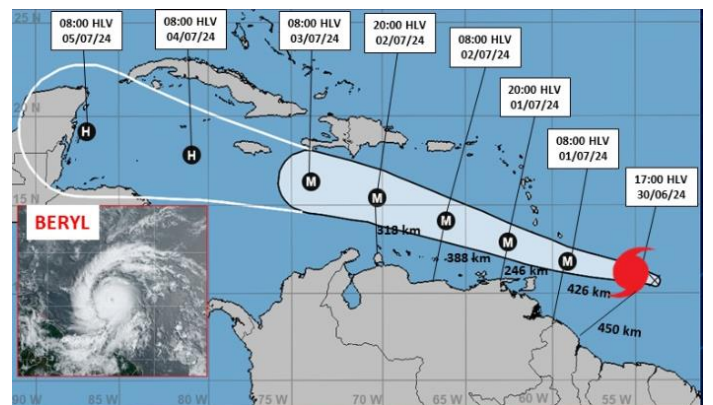
### 「台風 Beryl 7月1日～7月2日に接近」

ベネズエラに非常に勢力が強い台風「Beryl」が接近している。

米国の台風センターは、Beryl の危険レベルをカテゴリー4「非情に強い台風」に分類。死者が出る可能性があると呼び掛けている。

「国家気象観測研究所（INAMEH）」は、6月30日（日曜）17時時点の Beryl の位置と予想される進行ルートを発表。7月1日にベネズエラに到着し、7月2日にかけて海岸線から少し離れた海域を移動するとした。

なお、マドゥロ政権は7月3日までベネズエラ海域での船舶の運航を禁止している。



(写真) INAMEH “台風 Beryl の予想進行ルート”

以上